

- 1 日 時 平成23年9月7日(水)
- 2 学年・組 第1学年5組(男子17名 女子14名 計31名)
- 3 場 所 第1学年5組 教室
- 4 単 元 名 「著作権について考えよう」
- 5 単元について

○教材観

近年、パソコン・インターネットの普及により自宅でCDをコピーしたり、パソコンを使って映像・音楽をダウンロードしたり、インターネットを使って、情報やりとりをするのが当たり前になっている。このように人々の生活が便利で豊かになる一方、音楽や映像の違法ダウンロードや海賊版商品の販売の蔓延など著作権に関わる問題が話題となっている。これらの問題は、生徒自身にとって身近に感じる内容である。

本単元では、複数の資料から読み取った情報を関連付け著作権があることのメリットとデメリットを推論し、比較して、著作権が必要かどうかを判断することを通して、考力・判断力を高め、他者との交流によって多面的な物の見方・考え方に触れ、思考力を深めていくことができる。そして、交流で得た情報と自分で読み取った情報を活用し、著作権が必要か必要でないかを根拠を明確にして広告カードへ表現していく内容である。

○生徒観

4月に実施したNRT(全国学力調査)の4教科の結果を総合的にみると、本学級においては、教科によって差があるものの、思考力・判断力といった能力は全国平均と比較すると下回っている。また情報を読み取ることが得意な生徒は多いが、読み取った情報を使って考えたり、複数の情報を結び付けて推論したり、考えたことをうまく相手に伝える・表現することを苦手としている生徒が多い。

さらに、学習における特徴については、積極的に発言をする生徒が多いが発言者が固定されている傾向にある。意見を交流する活動は活発である。また指示をよく聞いていない生徒や学習のとりかかりに時間がかかったり同じ指示を繰り返し聞いたりする生徒も見受けられる。

○指導観

資料から情報を取り出す際には、難しい語句が多いため辞書を用意させることで、自由に調べさせる手立てを講じたい。本教材は、文章・グラフ・表・写真など非連続資料なので、情報の読み取りやすいものから着手させたり、重要だと思ふ資料やことばにはマーカーでラインを引かせたり、読み取った情報がひと目で分かるよう指導する。

思考させる場面では、複数の情報から推論させるために個人で考える時間を十分に確保したいと考えている。また、手の止まっている生徒には、机間指導で資料を見る視点をアドバイスしていく。複数の資料から推論する際には、学習が進まない生徒がいることも予想されるため、読み取った情報を結びつけやすいようにワークシートの工夫をした。

表現する力においては、グループでの話し合いや全体に伝えていく場面では自分の考えと根拠を明確にして述べさせるように指導していく。

○単元の目標

著作権にかかわる複数の資料から、著作権があることのメリットとデメリットを推論して考え、これらを比較して著作権は必要なのかどうか自分の立場を決定し、自分の考えを宣伝カードに表現することができる。

6 単元の評価規準

情報を取り出す力	思考・判断する力	表現する力
著作権〇×クイズに正しく答えるために必要な情報を、資料から取り出すことができる。	著作権があることのメリットとデメリットを、読み取った情報から推論して考えることができる。	著作権についての自分の考えを、根拠を明確にした宣伝カードに表現することができる。

	学習活動	情報を取り出す力	思考・判断する力	表現する力
第1時	著作権〇×クイズに答え、著作権とはどのようなものか資料から読み取る。	○		
第2時	著作権があることのメリットとデメリットを資料から推論して考え、著作権が必要かどうかを自分の立場を決定する。		○	
第3時	著作権は必要かどうか自分の考えを説明するとともに、宣伝カードを作るために伝えたいことを整理する。			○
第4時	著作権についての自分の考えを、根拠を明確にした宣伝カードに表現する。			○

## 7 第 2 時

### (1) 本時のねらい

著作権があることのメリットとデメリットを資料から推論して考え、著作権が必要かどうか自分の立場を決定することができる。

### (2) 本時の評価基準

評価規準	十分満足できると判断できる基準	概ね満足できると判断できる基準	努力を要する生徒への手立て
著作権があることのメリットとデメリットを、読み取った情報から推論して考えることができる。	著作権があることのメリットとデメリットを、読み取った複数の情報を関係付けて、推論して考える。	著作権があることのメリットとデメリットを、読み取った1つの情報から推論して考える。	難しい語句の意味を説明する。 身近な例で考えさせる。

### (3) 準備物

ワークシート、辞書、資料、マグネット

### (4) 指導過程

	主な発問・指示	学習活動	教師の指導と評価
導入	・第一時に学習した著作権によって制限される事例について、どのような感想を持ちましたか。	・前時を振り返る。 □友達に音楽CDをコピーしてあげることにはできないのは厳しいと思いました。 □作品を創った人がしっかり守られているのを感じました。  ・本時の課題を把握する。	・対立する2つの立場を示す。  ・課題を板書する。
発展	・資料から情報を取り出そう。	・資料から情報を取り出してワークシートに記入する。 ・資料①～⑥から取り出した情報グループで交流し発表する。 □違法音楽ファイルのダウンロード数は、正規の配信サイトからのダウンロード数を超えている。著作権があってもこれだけの違法がある。	・難しい語句は、辞書で調べさせる。 ・資料を提示する。 ・ワークシートの書き方の説明。 ・個人でじっくり考えて、ワークシートに記入する。

取り出した情報を関連づけて著作権があることのメリットとデメリットをそれぞれ1つ以上考えよう。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メリットとデメリットを比較して、著作権が必要かどうか、自分の立場を決定し、その理由を書きましょう。</li> </ul>	<p>□EXILEの曲は、着うたフルで4億2千万円を売り上げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み取った情報を関連づけて推論してメリットとデメリットを考え、ワークシートの記入する。</li> <li>・考えたことをグループで交流し発表をする。</li> </ul> <p>□著作権は必要だと思います。なぜなら音楽のサイクルが守られているからです。</p> <p>□著作権は必要だと思いません。なぜなら著作権があっても違法ダウンロード数は減っていないからです。</p>	<p>著作権があることのメリットとデメリットを、読み取った情報から推論して考えることができている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2～3人に理由を発表させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">言語力の目当て表から</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考え・立場を根拠を明確にして説明させる。</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・著作権があることのメリットとデメリットを考え、自分の立場を決定することができました。</li> <li>・次の時間は、討論をして、著作権は必要かどうか自分の考えに見直しを行い、宣伝カードで伝える内容を整理します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時を振り返り、次時の課題を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頑張った取り組み状況を肯定的に評価する。</li> </ul>

### (5) 板書計画

**課題**  
著作権があることのメリットとデメリットを資料から推論して考え、著作権が必要かどうか自分の立場を決定することができる。

資料①

- ・正規の配信サイトより違法音楽ファイルのダウンロード数が多い。
- ・違法ダウンロード数は年々増えている。

資料②

- ・アーティストは儲かっている。

資料③

- ・パソコンは便利だ。

資料④

- ・レンタル店は日本著作権協会に使用料を払っている。

資料⑤

- ・すべて関係している。